

令和7年度「人間尊重の教育推進事業」 「さっぽろっ子自治的な活動」取組報告書

学校名【白石小学校】

(作成者 ☒教員 ☐子ども)

1 大切にしたい項目 ※特に大切にしたい項目一つにチェックを付けてください。	☐ P: ポジティブ～前向きに考えて ☐ L: ラブ～互いを大切に ☐ U: ユニーク～個性を認め合い ☒ S: スマイル～笑顔あふれるさっぽろに 
2 取り組んだ学年・学級等	児童会を中心とした全校
3 取組内容	【新3つの「あ」の取組】 白石小学校では、今年度から「あいさつ」「あんしん」「あんぜん」と、3つの『あ』を新たに設定し直しました。 特に「あいさつ」では、児童会が“あいさつビンゴ”を企画するなど、挨拶を通じて、子どもたち同士の心が通じ合い、そこから今年度の学校テーマでもある「スマイルあふれる白石小学校」となるよう日々、取組みを行っています。 【ハルニレ交流】 異学年が協力して楽しい学校生活を送れるようにするために、異学年間のつながりを深めることを目的とした取組みです。 年4回設定をしている中で、前半は上の学年の児童が企画運営を行い、後半では、それを見て、経験した下の学年（1年生も）が自分たちで遊びを計画、交流会の司会進行も行っています。 子どもたち同士のつながりだけでなく、自治的なマインドも着実に育っていく機会となっています。   児童会では「スマイルボックス」を設置し、子どもたちの声を集め、学校づくりに生かす活動も行っています。  
4 取り組んでみて	〈児童会児童の声〉 児童会として取り組んだ「あいさつビンゴ」で特に低学年が積極的になってくれたが、その後、挨拶をする子が減ってきたので、次の取組を企画したい。 〈6年生児童の声〉 ハルニレ交流の内容を楽しみながら自主的に考え、普段あまりふれ合う機会の少ない子どもとも交流を深めることができ、企画力もつけることができた。